

## ○ワークショップ「消費者行動」

開催責任者    ビジネス研究科 石垣智徳  
湯本祐司

2015年3月5日

3月6日

南山大学名古屋キャンパス J棟 4階 415 会議室



ワークショップは以下のとおり、開催された。

### ◇報告者および題目

#### 3月5日（木）

1. 里村卓也（慶應義塾大学商学部）  
「消費者の離散・連続選択モデルの研究」
2. 佐藤栄作（千葉大学大学院人文社会研究科）、里村卓也（慶應義塾大学商学部）、  
中村 博（中央大学戦略経営研究科）、野際大介（福井工業大学工学部）  
「消費者の SHOP 選択行動モデルの研究」
3. 辻本法子（桃山学院大学経営学部）  
「観光土産のオンラインリピート購買に関する研究」

3月6日(金)

1. 森田裕之(大阪府立大学経済学部)  
「購買選好度減衰曲線を用いた選択多様性解析とその応用」
2. 鶴見裕之(横浜国立大学経営学部)  
「Web コミュニケーション・データのマーケティング活用」

#### ◇ワークショップの討論内容

本ワークショップでは広く消費者行動に関するモデル分析に関する研究報告ならびにディスカッションを行った。例えば、里村氏は離散選択モデルと連続選択モデルのハイブリッド型の選択モデルの提案を発表した。また、辻本氏は観光土産のリピート購買に関する報告を行った。近年注目を集めている中国人旅行客の帰国後のネット購買に関するものである。「被験者の属性が偏りはないか」や「日本人との比較になっているが米国人、欧州人との比較の方がよいのではないか」などの指摘を元に議論があった。

#### ◇研究成果発表

鶴見裕之・中山厚穂・増田純也、「マス・コミュニケーション、web コミュニケーションが販売実績に与える影響分析」(第11回「助成研究吉田秀雄賞」奨励賞受賞)、『オペレーションズ・リサーチ』2013年8月号、2013年8月

Takuya Satomura, Michel Wedel, and Rik Pieters, “Copy Alert: A Method and Metric to Detect Visual Copycat Brands”, *Journal of Marketing Research*, 51, No.1 pp 1-13(Lead Article), 2014

里村卓也・金明哲(編)、「マーケティング・データ分析の基礎(Useful R 3)」、共立出版、2014年10月

里村卓也、「パネル・データを利用したブランド力の評価」、(共著)守口剛、佐藤栄作編「ブランド評価手法」6章、朝倉書店、2014/11